

〔 横浜市民ギャラリー 〕  
平成 23 年度業務計画及び収支予算  
〔 公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 〕

- ※ 文中の事業欄において、  
●：主催事業。○：共催事業  
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、  
□：定量的指標。■：定性的指標  
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリー
所在地	横浜市中区万代町 1-1
構造・規模	教育文化センター（鉄骨・鉄筋コンクリート造、地下 2 階地上 1 1 階）のうち、地下 1 階、地上 1 階、2 階、3 階部分）
敷地・延床面積	専有延床面積 2,918㎡
開館日	昭和 39 年 7 月

2 指定管理者

団体名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区北仲通り 40 番地
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

【指定管理期間中の使命】

開設以来 40 余年の歴史と伝統を踏まえ、横浜市が目指す“創造都市”の新たな展開と、その先にある”新たな成長戦略“に貢献することを使命とし、市民の様々な美術活動が潤いと癒しを与え、美術に親しむ心が響き合い、かよいあう美術のオアシス”として親しまれる横浜市民ギャラリーを目指します。

### 【業務取り組みの基本的な考え方】

3つの基本方針

「ともに創る、ともに育む“市民協働のアート活動”」

「子どもの時からふれあう“次世代の育成・支援”」

「アートシーンの変化を映し出す」

3つの基本方針のもとに、横浜市の中期計画を踏まえ、創造都市横浜からの美術を核とした文化芸術の発信や市民への創造と普及の場の提供、文化芸術活動の支援や文化芸術振興の担い手の育成、子どもたちへの文化芸術体験の機会の提供、市民への美術入門の機会の提供、拠点施設との連携などの役割を果たします。

## 業務の基準の使命の要約

### (2) 23年度の業務の方針及び達成目標

#### 【全体業務について】

第2期指定管理期間1年目を迎える年である平成23年度は、14年間にわたる安定した運営実績を踏まえ、利用者との信頼関係を一層深めるとともに、創造都市の形成、市民協働、次世代育成等のさらなる課題に向かって積極的な事業展開を図っていきます。

#### ① 事業について

##### ●発信性のある自主事業の実施

創造都市戦略によりサポートしたアーティストを含めた企画展や市民のコーディネートを含め、現代の視点による所蔵作品を紹介するなど、アートシーンを切り拓く展覧会を開催します。

##### ●次代を担う子どもの創造性教育の場の提供

すべての作品を展示する子どもの美術展や楽しく学べる造形教室、学校で文化芸術に触れあえるアウトリーチ活動や美術教諭等からの相談への対応など、総合的な支援を行ないます。

##### ●市民やアーティストの創造活動の支援

美術団体などの利用者との交流を図り、情報交換やアドバイスの機会を提供するとともに、初心者が創作に親しめる絵画教室や市民主体の日曜画家展などを開催します。また、市民ボランティアの育成やアーティストの創造活動を支援するなど、市民の美術活動との協働を進めます。

##### ●創造活動を介した人々の関わり合いの場の設定

利用団体との交流や民間ギャラリー、美術教諭等とのネットワーク形成を図り、まちづくりとの連携や美術教育への貢献、幅広い世代のボランティア参画の呼び掛けなど、多様に活用できるネットワークのコア機能を果たしてゆきます。

#### ② 運営について

利用者の立場に立ったきめの細かいサービスを提供し、安全で安心できる施設運営に努めます。

##### ・利用率100%の維持

利用団体の高齢化による美術団体の減少、絵画人口の縮小などを考慮し、新たな幅広い世代の展示室利用者層を掘り起こし、貸館利用率100%を維持します。

##### ・安全で快適な利用しやすいギャラリー環境の維持

設備管理や防災管理など、築40年を経た施設の周到的メンテナンスに努めるとともに、展覧会

開催のための丁寧なガイダンスやアドバイスなど、利用者の立場にたち、ホスピタリティーの向上に努めます。

### ③ 管理について

#### ・収支双方での安定運営

ファンドレイズや助成金申請などにより、積極的で幅広い財源確保を図るとともに、適切な支出管理に努め、収支面での運営を安定させます。

#### ・自主・貸館事業が相互に安定した開催状況

自主事業を積極的に取り組むとともに、開催時期や施設管理面での貸館利用者への影響を考慮し、事前に十分な調整を図ります。

## 4 業務の取組と達成指標

### (1) 事業について

#### ア 発信性のある自主事業の実施について

[取組内容]	[達成指標]
<p>①●「ニューアート展」(展覧会および普及事業)の新たな展開。 「創造都市横浜からの発信」を明確に捉え、創造都市の立地を活かした連携の強化</p>	<p>① <input type="checkbox"/> 入場予定者数4,000名、9月30日～10月19日、ボランティア延べ50名参加、関連事業の実施2回以上 <input type="checkbox"/> 横浜トリエンナーレと同時期に開催することで広報等の連携を図り、周辺会場も含め会場間の回遊性を高め各会場相互の周知・集客に寄与する ■満足度4.0以上</p>
<p>②●市民ボランティアの育成と連動したコレクション展(展覧会および普及事業)の実施</p>	<p>② <input type="checkbox"/> 入場予定者数 3,000名、平成24年2～3月、関連事業2回以上実施 <input type="checkbox"/> 展覧会前の作品選定、会期内の鑑賞サポーターとして、ボランティアの参加を図る。ボランティア延べ50名 ■満足度4.0以上</p>

#### イ 次代を担う子どもの創造性教育の場の提供について

[取組内容]	[達成指標]
<p>①●文化芸術の体験の場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内在住・在学の12歳以下の児童の無審査公募展(7～8月、6日間)</li> <li>・小学生以下対象の造形教室(多文化共生プログラム)</li> </ul>	<p>①<input type="checkbox"/> 「横浜市こどもの美術展」の開催、出品点数 3,000 点、入場予定者 8,000 名、高校生～大人までの広い世帯にわたるボランティア 30 名、ワークショップ参加者 300 名 ■満足度 4.0 以上 <input type="checkbox"/> ハマキッズ・アートクラブ(全 8 回、うち 1 回は「こどもの美術展」内)の実施、各回 30 名参加 ■満足度 4.0 以上</p>
<p>②●教育機関等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術教育等に関する相談等に対応</li> </ul>	<p>② ■美術教育等の相談対応：随時</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・○「せんせいの美術展」(仮称)開催のための準備協議</li> <li>●「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」参加に伴う市内小中学校授業のコーディネート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成 25 年度開催予定の「せんせいの美術展」準備協議：随時</li> <li>□アウトリーチ：年 2 校程度</li> </ul>
---	--

ウ 市民やアーティストの創造活動支援の場

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①●初心者を中心とした絵画教室の実施し、絵画人口・ファンのすそ野を広げる</li> <li>②●市民(16歳以上)の出品作品を無審査で展示する展覧会の開催</li> <li>③●大人のための多様な美術関連講座の実施</li> <li>④●ボランティアによる展覧会参加(各展での鑑賞サポーターや「コレクション展」での学芸員と供に学び・作るキュレーション活動など)</li> <li>⑤●学校や地域との連携から生まれる新規展覧会の実施</li> <li>⑥●自主事業でとりあげるアーティスト支援のためのレクチャーや指導講座の実施</li> </ul>	<p>[達成目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①□全 20 コース、参加者のべ 770 名(レギュラーコース 10、単科コース 10) ■年度末に「絵画教室卒業生展」の実施</li> <li>②□「ヨコハマ日曜画家展」出品点数 200 点、入場者 6,000 名</li> <li>③□「ハマゼミ」：年度後半での実施を目指します</li> <li>④■ボランティア研修会： 展覧会前後の学芸員によるレクチャーや勉強会、および横浜美術館等他の文化施設見学会等での実施 □交流会：年 1 回</li> <li>⑤■美術系大学や専門学校等の卒業制作展等の誘致 ○「せんせいの美術展」の開催(平成 25 年度予定)</li> <li>⑥■展覧会事業(3 回)、ハマキッズ・アートクラブでの講座：各事業ごとでアーティストを取り上げる実施</li> </ul>
--	--

エ 創造活動を介した人々の関わり合いの場

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①●民間ギャラリーとの情報交換や意見交換のシステム化</li> <li>②●利用者団体(美術友の会等)との意見交換</li> <li>③●ボランティア機能の強化</li> <li>④●学校とのネットワーク形成による日常の相談対応や「せんせいの美術展」開催準備等の円滑化</li> <li>⑤●アーティストとの触れ合いの場の提供</li> </ul>	<p>[達成目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①■ギャラリーネットワークの形成：情報誌やホームページの編集だけにとどまらず、市内約 140 あるギャラリーとの実質的な連携・交流を目指す。 □交流会：年 1 回</li> <li>②■協議等：随時</li> <li>③さまざまな活動を通してボランティアとの市民協働を進める。 □ボランティア交流会：年 1 回(再掲)</li> <li>④■連絡調整：年間 2 回程度</li> <li>⑤■・企画展での制作段階での制作ボランティアの募集 ・展覧会期間中のアーティストトーク</li> </ul>
---	---

・ワークショップでアーティストを講師として取り上げる

(2) 運営について

ア 創造活動の発表の場の提供について

<p>[取組内容]</p> <p>①展示室利用率年間 100%を維持するため、利用年齢層拡大を目指し、大学、専門学校等の卒業制作展、作品展等を積極的に誘致</p> <p>②条例に定める上限料金に準じた利用料金を徴収します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>①<input type="checkbox"/>利用率 100%</p> <p><input type="checkbox"/>開館について</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">開館日数</td> <td style="text-align: center;">3 4 4 日</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">営業時間</td> <td style="text-align: center;">1 0 時～1 8 時</td> </tr> </table> <p>②利用料金</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">展示面積</th> <th colspan="2">利用料金 円/日</th> </tr> <tr> <th>入場無料</th> <th>入場料徴収</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 階展示室</td> <td style="text-align: center;">273</td> <td style="text-align: center;">7, 500</td> <td style="text-align: center;">15, 000</td> </tr> <tr> <td>2 階展示室</td> <td style="text-align: center;">133</td> <td style="text-align: center;">4, 500</td> <td style="text-align: center;">9, 000</td> </tr> <tr> <td>3 階展示室</td> <td style="text-align: center;">997</td> <td style="text-align: center;">30, 000</td> <td style="text-align: center;">60, 000</td> </tr> <tr> <td>A 室</td> <td style="text-align: center;">349</td> <td style="text-align: center;">10, 500</td> <td style="text-align: center;">21, 000</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">A-1</td> <td style="text-align: center;">193</td> <td style="text-align: center;">5, 200</td> <td style="text-align: center;">10, 500</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">A-2</td> <td style="text-align: center;">156</td> <td style="text-align: center;">5, 200</td> <td style="text-align: center;">10, 500</td> </tr> <tr> <td>B 室</td> <td style="text-align: center;">304</td> <td style="text-align: center;">10, 500</td> <td style="text-align: center;">21, 000</td> </tr> <tr> <td>C 室</td> <td style="text-align: center;">344</td> <td style="text-align: center;">10, 500</td> <td style="text-align: center;">21, 000</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">1, 403</td> <td style="text-align: center;">42, 000</td> <td style="text-align: center;">84, 000</td> </tr> </tbody> </table>	開館日数	3 4 4 日	営業時間	1 0 時～1 8 時	区分	展示面積	利用料金 円/日		入場無料	入場料徴収	1 階展示室	273	7, 500	15, 000	2 階展示室	133	4, 500	9, 000	3 階展示室	997	30, 000	60, 000	A 室	349	10, 500	21, 000	A-1	193	5, 200	10, 500	A-2	156	5, 200	10, 500	B 室	304	10, 500	21, 000	C 室	344	10, 500	21, 000		1, 403	42, 000	84, 000
開館日数	3 4 4 日																																														
営業時間	1 0 時～1 8 時																																														
区分	展示面積	利用料金 円/日																																													
		入場無料	入場料徴収																																												
1 階展示室	273	7, 500	15, 000																																												
2 階展示室	133	4, 500	9, 000																																												
3 階展示室	997	30, 000	60, 000																																												
A 室	349	10, 500	21, 000																																												
A-1	193	5, 200	10, 500																																												
A-2	156	5, 200	10, 500																																												
B 室	304	10, 500	21, 000																																												
C 室	344	10, 500	21, 000																																												
	1, 403	42, 000	84, 000																																												

イ 利用促進及び利用者サービスの向上について

<p>[取組内容]</p> <p>①利用団体構成人数の変更（原則として 10 名）を機関誌やホームページ等により周知徹底</p> <p>②利用が少ない世代への積極的なアプローチ</p> <p>③ホームページ、パンフレット等の利用案内の充実</p> <p>④アンケート内容や回収方法の見直しによる来館者サービスの向上</p> <p>⑤関係団体等との協力体制の強化</p> <p>⑥市民ギャラリー所蔵の図録、印刷物、雑誌等を市民が自由に閲覧</p>	<p>[達成指標]</p> <p>①■情報誌「アートヨコハマ」やホームページ等による PR : 3 回（情報誌の発行にあわせて）</p> <p>②■大学、専門学校等への誘致活動：随時</p> <p>③<input type="checkbox"/>ホームページアクセス数：年間 50,000 件以上 端末を事務室入口に設置し、端末での情報収集を紹介するとともに、アクセス数を増やす努力をする</p> <p>④■アンケート回収率：0.1%以上（入場者 45 万人/年のうち） ■満足度：ソフト面 4.0 以上、ハード面 3.5 以上</p> <p>⑤■交流、協議：随時</p> <p>⑥<input type="checkbox"/>仮称アートライブラリー：ボランティアとの協働で、蔵書の整理に着手し、平成 25～26 年度での開設を目指す</p>
--	---

可能なライブラリーを設置	
--------------	--

ウ 市民ギャラリー所蔵作品の適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示

<p>[取組内容]</p> <p>市民ギャラリー所蔵作品の適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵庫内設備機器及び所蔵作品の専門業者による保守管理の実施</li> <li>・学芸員による収蔵庫設備、所蔵作品の点検結果の日報記載とデータベースの管理</li> <li>・学芸員の解説添付の「アートヨコハマ」を活用した作品の紹介</li> <li>・他美術館等への所蔵作品の貸し出し、熟覧</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>専門知識をもった学芸員が、庫内設備および所蔵作品の概観について毎日目視点検を行い保守管理に努める一方で、体系的に研究し資料としての価値を高め、地域文化の発展の礎を作ります。年に1回の所蔵作品「コレクション展」は、市民の財産である作品を展覧する目的に加え、日々の研究の成果を示す貴重な場として開催する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回以上の庫内機器の保守点検、年1回以上の作品棚卸を行い、状態の確認を行う</li> <li>・日報記載：毎日、データベース適宜更新</li> <li>・各号（年3回発行）で、親しみやすい紹介をおこない、所蔵作品の広報に努める</li> <li>・随時</li> </ul>
---	---

エ アトリエ及び作品保管室の管理運営

<p>[取組内容]</p> <p>アトリエ及び作品保管室の活用と管理運営</p>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アトリエの利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>□利用率：75%</li> <li>■自主事業（ハマキッズ、絵画教室、ボランティア活動）、ライブラリー設置準備作業としての利用、団体展の搬入保管・審査会場としての利用</li> </ul> </li> <li>・保管室の利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>■自主事業の補助的（準備等）利用、所蔵作品の整理・点検・貸出作業としての利用</li> </ul> </li> </ul> <p>いずれも、施設の使い勝手や日常的に整理整頓をし、清潔さなどの快適性にも常に心掛け利用率を高めるよう努める</p>
--	--

オ 事業の実施・管理運営体制

<p>[取組内容]</p> <p>①ローテーション制とし、専門的な人材を配置、機能的、効率的な業務分担による組織力発揮</p> <p>②適切かつ効果的な勤務体制を確立します。</p> <p>③施設の所管である教育委員会や絵画教室の委託先であるNPO法人「横浜美術友の会」等との連携</p>	<p>[達成指標]</p> <p>①早番（8:30～17:15）、遅番（9:30～18:15）の2交代制、展示日、撤去日の重点配置</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">人数</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>統括責任者</td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>管理運営実務の責任者</td> </tr> <tr> <td>学芸職員(固有)</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>企画展開催、所蔵作品の管理、活用等</td> </tr> <tr> <td>教育職員(固有)</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>美術教育の支援、相談、講座等の企画</td> </tr> <tr> <td>施設管理(固有)</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>施設の維持、修繕等</td> </tr> <tr> <td>貸館運営(囑託)</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>貸館事務</td> </tr> <tr> <td>庶務経理(派遣)</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>労務、防災、予算等</td> </tr> <tr> <td>アルバイト職員</td> <td style="text-align: center;">3人</td> <td>ギャラリーの管理運営の補助業務</td> </tr> </tbody> </table> <p>②館長、副館長も含めローテーション体制</p> <p>③日常の適切な維持管理のための連絡調整：随時</p>	項目	人数	備考	館長	1人	統括責任者	副館長	1人	管理運営実務の責任者	学芸職員(固有)	1人	企画展開催、所蔵作品の管理、活用等	教育職員(固有)	1人	美術教育の支援、相談、講座等の企画	施設管理(固有)	1人	施設の維持、修繕等	貸館運営(囑託)	1人	貸館事務	庶務経理(派遣)	1人	労務、防災、予算等	アルバイト職員	3人	ギャラリーの管理運営の補助業務
項目	人数	備考																										
館長	1人	統括責任者																										
副館長	1人	管理運営実務の責任者																										
学芸職員(固有)	1人	企画展開催、所蔵作品の管理、活用等																										
教育職員(固有)	1人	美術教育の支援、相談、講座等の企画																										
施設管理(固有)	1人	施設の維持、修繕等																										
貸館運営(囑託)	1人	貸館事務																										
庶務経理(派遣)	1人	労務、防災、予算等																										
アルバイト職員	3人	ギャラリーの管理運営の補助業務																										

カ その他

<p>[取組内容]</p> <p>①展示室利用料収入年間目標</p> <p>②多様なファンドレイズ等</p> <p>③事務経費削減の努力</p>	<p>[達成指標]</p> <p>① 展示室利用料収入：11,850,000円</p> <p>H23年度の教育文化センターの施設修繕日（全館休館）の設定日が多くなったこと、および展示室利用に空きコマがでるケースが発生している（5コマ前後）という状況に鑑み、指定管理提案時より収入予想を240,000円下方修正</p> <p>②多様なファンドレイズ：1,900,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成金獲得目標額：ニューアート展 NEXT 1,000,000円</li> <li>・広告料獲得目標額：アートヨコハマ 500,000円</li> <li>・協賛金獲得目標額：ニューアート展 NEXT 100,000円</li> <li style="padding-left: 20px;">こども展 250,000円</li> <li style="padding-left: 20px;">コレクション展 50,000円</li> <li>・寄附金獲得目標額：諸自主事業 設定なし</li> </ul>
--	---

	<p>③経費削減</p> <p>消耗品・備品等の購入節約、修繕再利用</p> <p>調達コスト削減：早期の委託契約・備品購入・入札の実施</p>
--	--

(3)管理について

ア 保守管理業務

<p>[取組内容]</p> <p>・教育委員会事務局との連絡調整 施設の利用環境維持のための連絡調整</p>	<p>[達成目標]</p> <p>綿密な連絡調整、相談：随時</p>
--	------------------------------------

イ 環境維持管理業務

<p>[取組内容]</p> <p>①収蔵庫</p> <p>②その他</p>	<p>[達成目標]</p> <p>①・学芸員が、庫内設備および所蔵作品の外観について毎日目視点検を行う</p> <p>・庫内設備については、年2回以上保守点検を実施し、適正な温度湿度を計測し、庫内環境を良好に保つよう配慮する</p> <p>・所蔵作品については、年に1回以上優先順位をつけて棚卸を行い、状態の確認を行う</p> <p>・庫内設備および所蔵作品について異常がみつけられた場合は、すみやかに市に報告し、専門家の意見を取り入れ、適切な処置を行う</p> <p>②その他</p> <p>・担当職員による毎日の目視点検</p> <p>・利用団体に事前の説明を徹底し、破損・紛失等を未然に防ぐ</p> <p>・修復および買い替えが必要なものは適切な予算管理のもと適宜対応する</p> <p>・施設から日々発生するゴミは市の分別ルールに沿って適切に分別し、教育委員会事務局の回収ルートに則って廃棄する</p> <p>・産業廃棄物は、適宜専門業者に委託して適切に廃棄する</p>
---------------------------------------	---

ウ 保安警備業務

<p>[取組内容]</p> <p>保安警備</p>	<p>[達成目標]</p> <p>□日常点検：開・閉館および業務時間内に3回、合計5回</p> <p>■業務日誌：毎日の日常点検を必須項目とその他事項を記載し、記録を残す</p> <p>■教育委員会との協力連携：教育委員会事務局および24時間体制の警備室と日常的に情報の交換・共有を行う</p>
---------------------------	---

エ 防災等

<p>[取組内容] 防災</p>	<p>[達成目標]</p> <p>□共同防災管理：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会主催の防災訓練参加：年1回</li> <li>・教育委員会主催の防火管理協議会参加</li> <li>・自主防災訓練：2回</li> </ul> <p>■防災マニュアル</p> <p>教育委員会との共同防災マニュアルおよび独自のより詳細な防災マニュアルを作成し、絵画教室委託者（NPO 法人横浜美術友の会）、利用者（展示室利用団体、アトリエ事業受講者）にも避難経路の確認、緊急時の対応を徹底する</p>
----------------------	--

オ 緊急時の対応

<p>[取組内容] 緊急時の対応</p>	<p>[達成目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■緊急連絡網の作成</li> <li>■あらゆるケースを想定し、市および教育委員会と日常的に対応を協議し、全スタッフ（館長からアルバイトまで）に対応の徹底を図る</li> </ul>
--------------------------	--

カ 光熱水費の削減努力

<p>[取組内容] 光熱水費の削減努力</p>	<p>[達成目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■使用しない部屋の節電の徹底</li> <li>■利用団体に照明について事前協議を十分に行い、必要以上の作品照射については節電への理解を求める</li> </ul>
-----------------------------	---

キ 絵画教室準備室等の提供

<p>[取組内容] 絵画教室準備室等の提供</p>	<p>[達成目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アトリエ室に委託者（NPO 法人横浜美術友の会）の事務機能を置き運営の遺漏・支障ないように努める</li> <li>・市民ギャラリースタッフと委託者との日常的な相互コミュニケーションを心掛け、絵画教室受講者への柔軟で親しみやすい運営を心掛ける</li> </ul>
-------------------------------	--

ク 施設予防保全

<p>[取組内容] 業務全般にわたって準備・整理整頓を徹底し日常に備える</p>	<p>[達成目標]</p> <p>データ管理・備品類を整理整頓し、緊急時に落ち着いて冷静な判断で対処できるよう日常的な準備を怠らない</p>
--	--

#### (4)PDCA サイクルの確実な運用

##### ア 日報及び月報の作成・管理

[取組内容] 日報及び月報の作成と管理	[達成指標] ・ 日報、月報を作成・管理する。 ・ 日常業務の中で PDCA サイクルを推進することで、短いサイクルでの早い対応・改善ができるよう努める
------------------------	--

##### イ 業務計画書及び業務報告書の作成・管理

[取組内容] 業務計画書および業務報告書の作成と管理	[達成指標] 定められた様式に沿って作成し、管理する
-------------------------------	-------------------------------

##### ウー 1 業務評価(モニタリングの実施)

[取組内容] モニタリングの実施による業務評価	[達成指標] 毎月のモニタリングにおいて、利用状況、施設管理状況、問い合わせ・苦情等、毎月の管理運営状況について報告する
----------------------------	---

##### ウー 2 業務評価(自己評価の実施)

[取組内容] 自己評価の実施による業務評価	[達成指標] 業務実績及び利用者の満足度や意見を元に自己評価を行い、以降の業務改善につながるよう努める
--------------------------	--

##### ウー 3 業務評価(第三者による評価の実施)

[取組内容] 第三者評価の実施による業務評価	[達成指標] 外部評価委員会による第三者評価が実施される場合は、横浜市の指示に従い対処する
---------------------------	--

#### (5)留意事項

##### ア 保険及び損害賠償の取り扱い

[取組内容] 保険及び損害賠償の取り扱い	[達成指標] 施設賠償責任保険による管理瑕疵及び施設管理対応(除く所蔵作品)、不定期臨時雇用保険(事業開催時の単発アルバイト)、横浜市ボランティア保険(市民ボランティア)を掛け、必要時に適切な対応を実施する
-------------------------	--

イ 法令の遵守と個人情報保護

<p>[取組内容] 法令の遵守と個人情報保護への取り組み</p>	<p>[達成指標] 横浜市個人情報保護条例に基づき遵守し、利用者の個人情報の取り扱いを適正に行い、事故のないように努める</p>
--------------------------------------	--

ウ 情報公開への積極的取り組み

<p>[取組内容] 市民ギャラリーの広報媒体を使って情報公開に努める</p>	<p>[達成指標] 情報誌「アートヨコハマ」やホームページ等で公開し、積極的な情報公開に努める</p>
--	---

エ 市及び関係機関等との連絡調整

<p>[取組内容] 市及び関係機関等との連絡調整</p>	<p>[達成指標] 毎月のモニタリングにおいて業務の報告、確認を行うが、重要な案件、緊急な案件については、随時横浜市・教育委員会・財団事務局に報告・協議し、適切な処理を心掛ける</p>
----------------------------------	--

オ その他

<p>[取組内容] ・適切な許認可及び届出等  ・施設の目的外使用  ・名札の着用 ・人権の尊重 ・近隣対策 ・書類の管理 ・行政機関が策定する基準等の遵守 ・法律の制定及び改正への対応</p>	<p>[達成指標] ・利用者の利便性を優先し、申請書類等の簡素化と迅速な手続きのあり方を工夫する ・美術振興の推進に貢献する目的外使用の範囲をその都度検討する ・施設内での名札着用を遵守する ・あらゆる差別を排除し、人権を尊重する管理運営を行う ・近隣の住民や企業、機関との協調に努める ・横浜市の文書管理規定を遵守する ・横浜市や神奈川県が策定する基準等を遵守する  ・法律の制定及び改正については市との協議の上、迅速に対応する</p>
---	---

## 5 収支予算額について

収支予算書

(単位：円)

項目	予算額	備考
収入		
指定管理料収入	60,010,000	指定管理料
利用料金収入	11,850,000	展示室貸館利用料
事業収入	12,647,000	絵画教室・ハマキッズ等の受講料、展覧会時の図録売上等
その他収入	900,000	事業の協賛金収入、情報誌アートヨコハマ広告料収入
合計	85,407,000	

支出		
人件費	43,300,000	館長0, 5、副館長1、固有3、嘱託1、派遣1、アルバイト3
管理費	12,140,000	光熱水費、展示室の照明設備等保守点検・修繕・管球・備品、契約用印紙購入
光熱水費	9,900,000	市民ギャラリー専用部分の光熱水費（割当）
修繕費	850,000	展示室天井、壁面、照明設備等の修繕
消耗品費	880,000	蛍光灯、電球等の照明器具
消耗什器備品費	500,000	展示室備品購入
租税公課	10,000	各種契約の収入印紙代
事業費	20,409,000	展覧会（ニューアート展 NEXT、コレクション展、こどもの美術展）、講座（ハマキッズ・アートクラブ、絵画教室）、アウトリーチ・市民協働など
事務費	9,558,000	情報誌アートヨコハマ制作、HP 管理、他事務運営経費
合計	85,407,000	

収支計	0	
-----	---	--

【別紙】自主事業一覧

No	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込	事業費
1	4～3月	主催	絵画教室	アトリエ	初心者中心の絵画教室 全 20 コース(レギュラー 10、単科 10)	770 名	10,500,000
2	6～1月	主催	ハマキッズ・アートク ラブ	アトリエ	小学生以下を対象とする 造形教室、全 7 回	210 名 各回 30 名	750,000
3	6月下旬 7日間	共催	ヨコハマ日曜画家展	1,2,3 階 A 室	市民の無審査公募展。 NPO 法人横浜美術友の会 との共催	6,000 名 出品数 200 点	5,000
4	7～8月 6日間	主催	横浜市こどもの美術 展	全 展 示 室	小学生以下を対象の無審 査公募展。	8,000 名 出品数 3,000 点	1,050,000
5	9～10月 20日間	主催	ニューアート展 NEXT	3 階 展 示室	「今日の作家展」「ニューア ート展」の系譜を受け継 ぎ、「創造都市横浜からの 発信」を加味し、女性若手 3 名による企画展	4,000 名	5,024,000
6	2～3月	主催	コレクション展	3 階 展 示室	1,300 点におよぶコレクショ ンの中から、「顔」の表現に 着目し、市民が選ぶ「顔」を 紹介します	3,000 名	1,800,000
7	4～3月	主催	アウトリーチ、市民協 働	アトリエ その他	①「横浜市芸術文化教育プ ラットフォーム」へ積極的に 参加、2 校程度実施。 ②「せんせいの美術展」の 開催準備 ③市民ボランティアと協働 による新たな事業展開	1,000 名	330,000